

開講科目名 Course	消費税法研究 / Consumption Tax Law
時間割コード Course Code	17907
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	木 / Thu 5
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	大脇 光明
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	10階ホール
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	大脇 光明 (法学研究科修士課程)
授業の目標	「授業の概要」の「講義の目的」のとおり。
授業の概要	<p>1. 授業の概要</p> <p>「講義の目的」 受講生に、消費税法の学習を通して、税法等の論理的解釈の理解を深め、認定事実に税法等を当てはめることについて、思考力等を伸ばしてもらうことを目的とする。</p> <p>「講義の内容」 課題を設定し、判決・裁決の争点を参照しつつ、消費税法の条文の趣旨・解釈について理解を深めるとともに、条文適用のあり方を考える。</p> <p>「授業の内容」</p> <ol style="list-style-type: none"> 消費税の基本的仕組み～課税の仕組み 納税事務の負担軽減 課税の対象～4要件の前半 4要件の後半 非課税取引 輸出免税 納税義務者 納税義務の成立 課税標準 仕入税額控除～一般課税による計算方法 帳簿の意義 帳簿の保存 簡易課税による計算方法 みなし仕入率 特定役務の提供に係る課税 <p>2. 評価方法 出席及び授業への参加姿勢・貢献度等を総合的に勘案して評価する。</p>
評価方法	「授業の概要」の「評価方法」のとおり。
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	特になし。
授業計画	「授業の概要」のとおり。

テキスト	
参考書	「詳解消費税法」財経詳報社 「消費税法の考え方・読み方」税務経理協会
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	授業の中で対応する。
フィードバックの方法	内容に応じて対処する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	判決の事前読込などの予習、各課題のポイントを理解するための復習を課している。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	